

# 鎌倉山行者道と河内城址

加西市の北東部、河内町に加西市最高峰「鎌倉山」があります。北条の住吉神社や社の佐保神社の神はどちらも鎌倉山から降臨した神であると伝えられており、古くから地域の人々に崇拝されてきた山であることがわかります。

山頂や西ののぞき、東ののぞきからは南を一望でき、天気良ければ遠く淡路島まで見渡すことができますし、インドより飛来し、一乗寺や普光寺など播磨を中心に多くの寺を開いたとされる法道仙人が入定したと伝える岩も残っています。一方、河内町南東部には河内城があり、いくつかの遺構を見ることができます。行者道と河内城址を散策し歴史ロマンと大自然に浸ってみてはいかがでしょうか？

※11月25日～2月末日は狩猟期間ですのでご注意ください。



鎌倉山頂より南方を望む



大日如来



釈迦如来



磨崖仏 (西ののぞき)



普光寺

白雉二年（651）法道仙人開基の寺で、仁王門やそれに続く杉並木が美しく、日本一の大きさといわれる石灯籠やモリアオガエル、ヒメハルゼミの生息地として有名です。



## 河内城（別所城、佐谷城）

15世紀中頃、在田氏により築られました。南方には高い山がないため広く見渡すことができ、播磨、但馬、丹波を繋ぐ要衝の地でもありました。今でも堀切や曲輪などの遺構を見出すことができます。

## 行者道ハイキングコース



明治三十五年（1902）、時の普光寺・明星院住職蓬萊実隆氏の尽力によって鎌倉山を中心とした行者道が開かれ、修験道播磨支局が設置され播磨における修験道の中心となったといえます。その後、行者道は荒廃していましたが、近年地元の方々の努力によりハイキングコースとして整備されました。河内町公会堂南東より登るコース、普光寺より登るコース、また、比延田池南より直接鎌倉山頂を目指すコースがあります。道中は様々な石仏や磨崖仏、城跡などがあり、行者道の面影を残しています。

●ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>  
 ■広報かさいは、資源保護のため100%再生紙を使用しています。



大豆インキを使用しています。



発行/加西市  
 〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 TEL0790-42-1110 (代)  
 編集/加西市 経営戦略室 TEL0790-42-8700 FAX0790-43-1800